

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	1年次	通年
授業科目名	人間学 I		担当教員名	A科常勤教員・就職キャリア支援センター・学生支援課 (1~5,9~13,15回) (6~8回) (14回)			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	学生一人一人が教育理念を理解し、目標に向かって大切な時間を過ごしていくために心掛けて欲しい事項、および自分のキャリアデザインを実現するために必要な自己分析や企業研究等の方法、考え方等を講義、グループディスカッション、講演会、奉仕活動などを通して学ぶ。						
到達目標 (150文字程度)	本校の教育理念「技術者たる前に良き人間たれ」を十分理解し、規則正しい生活習慣を身につけ、ルールを遵守する。 自分のキャリアデザインを描く。自分の強みを発見し、発信することができる。 仕事の価値観をつかみキャリアデザインの実現に生かす。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢			
			80%	20%			
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	人間学を通じ、自分の夢を実現させ幸せになるためには具体的にどのようにすれば良いのか考えて行動する習慣を身に付けてください。また、自分のキャリアデザインを実現するために自分と会社についてよく知り、自分にとって的確な会社選びができるよう積極的に取り組んでください。						
教科書	書名	社会人基礎力講座			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について) ※実施時期は適宜設定		
回=90分	項目	内容
1	教育理念	(1)教育理念、ディプロマ・ポリシー(2)学園・学校の歩み
2		
3	勉学開始に当たり	(1)キャリア・デザインとキャリア形成(2)基礎学力と生活習慣(3)英語の必要性(4)学内ルールの遵守(5)犯してはならないこと、注意したいこと
4	人間性と人生	(1)人生の出発点、(2)自己実現の欲求、(3)コミュニケーションによって開く未来
5		
6※	キャリアデザイン	ガイダンス1
7※		ガイダンス2
8※		ガイダンス3
9		(1)就職活動を成功させるために (2)自己分析 (3)職種・業界研究 (4)履歴書・業界研究 (5)企業採用試験
10		
11※	グループディスカッション	グループディスカッション
12※		
13※	講演会など	外部講師等による講演または学科教員による講義
14※	コンプライアンス	コンプライアンス
15※	奉仕作業	清掃活動など

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	1年次	通年
授業科目名	接客・ホスピタリティ概論 I	担当教員名	田中 希代子			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	ホスピタリティ業におけるプロフェッショナルを育成するため、ホスピタリティの概念及びサービス業に携わる人材に求められる接客・接遇の基礎を学び、演習を通して実践的な接客・接遇の基礎的技能を定着させる。					
到達目標 (150文字程度)	ホスピタリティ・サービスの本質を歴史や理論から理解し、組織を理解した上で具体的なシチュエーションにおいて体現し、その場合の相応しいアウトプットが積極的に実践できる様にする。					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	レポート	授業ワーク		
			70%	30%		
教員実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	形式やマニュアルだけにとらわれない、お客様にとって心地良いサービスが提供できるサービスのプロフェッショナルになれる様、多角的に学んで行きましょう。					
教科書	書名	コミュニケーションマナー検定		書名		
	書名	ゼロから教えて接客・接遇		書名		
参考書	書名			書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ホスピタリティセオリー	講義概要、修学目的説明、ホスピタリティとは・自身の社会的スキル尺度を知る
2		マーケティング(サービスとリレーションシップ)・サービスリカバリー
3		顧客満足と従業員満足
4		自己のパーソナリティを測る
5	接客者の心構え	身だしなみ、表情・笑顔、挨拶、姿勢、立ち居振る舞い、歩き方
6		
7		
8	接客者の言葉遣い	敬語、接客用語、クッション言葉
9		
10	接客者の聴き方	傾聴、質問力
11		
12	接客者の伝え方	ボイストレーニング、呼吸、滑舌、トーン、スピード
13		
14	ホスピタリティ英語	お客様に「伝わる」スピーキング お客様を理解するリスニング
15		
16	メイクレッスン	プロのメイクアップアーティストからそれぞれの個性に合った接客者のメイクを学ぶ
17		
18	話し方演習	話の組み立て①(PREP法で話す)
19		話の組み立て②(ローコンテキストで話す)
20		スピーチ作成①(自己PR・自己分析・キャリアビジョン)
21		スピーチ演習①
22	面接演習	好印象を与えるコミュニケーションⅡ①面接演習(第一印象づくり 入室～自己紹介)
23		好印象を与えるコミュニケーションⅡ②面接演習(話し方 自己PR)
24		好印象を与えるコミュニケーションⅡ③面接演習(言葉遣い 志望動機)
25		好印象を与えるコミュニケーションⅡ④面接演習(入室～面接～退室)
26		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑤面接演習(総合演習)
27		好印象を与えるコミュニケーションⅡ⑥面接演習(総合演習)
28	就職活動のマナー	身分証明写真
29		企業説明会について
30		オンライン面接対策

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	1年次 前期			
授業科目名	スキルアップ		担当教員名	田中 陽彦			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、非言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI演習を通じて、数的能力を中心に、基礎的能力の向上を図り、各種問題に対処する際の考え方を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の非言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。基礎的なレベルの能力の定着を図り、確実な点数取得につなげることを目標とする。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
教員実務経験	—						
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。						
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版	書名	高橋書店			
	書名		書名				
参考書	書名	一般常識&SPI	書名	あつという間にまるわかり！一般常識			
	書名	あつという間にまるわかり！SPI問題集	書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、四則演算
2		小数、分数の計算
3		方程式
4		割合・比
5		損益算
6		仕事算
7		濃度算
8		速さ
9		
10		場合の数、確率
11		命題
12		集合
13		推論
14		判断推理
15		総合演習問題

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			開講時期		1年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース						
授業科目名	一般教養			担当教員名	田中 陽彦			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 就職試験において広く実施されている能力・適性検査対策として、言語分野を中心にSPI3演習を実施する。 2. SPI3内容に加え、一般教養・時事問題・国内海外地理の知識を習得する。							
到達目標 (150文字程度)	現行の就職試験で実施されているSPI3の言語分野における基礎的なレベルの能力の定着を図る。また、一般教養・ニュース・地理分野への関心を高め、社会人としての基礎知識習得につなげることを目標とする。							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート						
教員実務経験	—							
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職対策としての取り組みにとどまらず、社会人としての一般常識となる基礎能力の向上を図る意識を持って、自主的かつ積極的な取り組みを期待する。							
教科書	書名	文系学生のためのSPI3完全攻略問題集2027年度版			書名	高橋書店		
	書名				書名			
参考書	書名	ドリル式一般常識問題集2023年度版			書名			
	書名				書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	SPI対策演習 (非言語)	オリエンテーション(本講義全般の内容・構成及び意義・目的の説明)、前期振り返り
2		判断推理
3		資料の読み取り
4		物流
5		ブラックボックス
6		グラフと領域
7	SPI対策演習 (言語)	空間把握
8		二語の関係、熟語の成り立ち、語句の用法
9		長文読解、文章の並べ替え
10	一般常識	時事問題・ニュース
11		ことわざ・慣用句・格言・名言
12		社会科学
13		漢字の読み書き
14		国内地理・世界地理
15	まとめ	総合演習問題

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		一般科目			
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	1年次 後期
授業科目名	キャリアプランニング		担当教員名	森 久見子	
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	就職活動の前提となる全国の航空系企業の研究と志望企業選定に関わる指導、ならびに就職選考試験に求められるエントリーシート・履歴書の作成要領及び面接対策に関わる包括的な就職活動指導を行う				
到達目標 (150文字程度)	就職活動を円滑かつ着実に進める為、全国の各企業の特徴や求められるレベルに応じた自己の改善課題を把握の上、自主的かつ主体的な取り組みを進めることで、志望企業応募の準備を行う				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	ワーク		
		50%	50%		
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理				
学生へのメッセージ (150文字程度)	就職は専門学校入学の最大の目的であり、就職選考は人生で最も重要な節目の一つとなることを自覚の上、自らの意志を持って取り組み、現状を見極め就職に向け着実な準備を行ってください				
教科書	書名		書名		
	書名		書名		
参考書	書名		書名		
	書名		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義全般の内容・構成及び目的の説明
2	自分を知る	キャリアプランニングシートを作成
3	企業研究	企業の研究し志望企業を絞りこむ
4		
5	エントリーシート	エントリーシート作成練習
6		
7	面接対策	面接マナー
8		面接ポイント
9	面接練習	個人面接
10		個人面接
11		グループ面接・グループディスカッション
12		グループ面接・グループディスカッション
13		グループ面接・グループディスカッション
14		グループ面接・グループディスカッション
15	まとめ	本講義の総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	1年次	前期
授業科目名	TOEIC-I-L		担当教員名	那須 まゆみ		
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリスニング・リーディング能力向上を目指す。					
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢		
	80%		10%	10%		
教員実務経験	大学・企業での各種TOEIC講座担当					
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これを信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。					
教科書	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業		書名	TOEIC TEST英単語 出るとこだけ	
	書名	TOEICテスト中学文法で600点		書名		
参考書	書名			書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	導入 Part 1	解放テクニック把握
2		基本語彙 数字
3	Part 2 基礎1	質問の種類
4	Part 3 基礎1	会話文
5	Part 4 基礎1	説明文
6	Part 1 基礎2	人物・物 描写
7	Part 2 基礎2	疑問文
8	Part 3 基礎2	図形問題
9	Part 4 基礎2	図形問題
10	Part 1 応用	人物動作
11	Part 2 応用	依頼・許可
12	Part 3 応用	会話文の意味
13	Part 4 応用	場面の把握
14	会話表現	空港 案内
15	会話表現	提案 謝罪

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	1年次	後期	
授業科目名	TOEIC-I-R		担当教員名	那須 まゆみ			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空業界に就職する際、及び就職後も高得点を求められるTOEICのリスニング・リーディング能力向上を目指す。						
到達目標 (150文字程度)	TOEIC 600点以上						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	小テスト	授業姿勢			
	80%		10%	10%			
教員実務経験	大学・企業での各種TOEIC講座担当						
学生へのメッセージ (150文字程度)	卒業するまでに600点を取ることを目標に、「継続は力なり」・・・これを信じてひたすら勉強してください。今こそ、学ぶ時です。						
教科書	書名	世界一わかりやすいTOEICテストの授業		書名	TOEIC TEST英単語 出るとこだけ		
	書名	TOEICテスト中学文法で600点		書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	導入 Reading Test	解放テクニック把握
2		基本語彙 表現
3	Part 5	傾向と対策
4	名詞	名詞の働き 形・種類
5	Part 6	傾向と対策
6	代名詞	代名詞の形 種類
7	Part 7	傾向と対策 Single Passage
8	名詞	実践問題
9	Part 7	Double Passage Triple Passage
10	代名詞	実践問題
11	13. 総合問題	心得 時間管理
12		語彙
13		読解テクニックと暗記
14		模試問題
15		模試問題

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポート・サービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース	開講時期	1年次 通年			
授業科目名	英会話I		担当教員名	ORIBE Bryn / TABLIZO John			
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. A variety of written exercises and lecture topics, beginning with elementary grammar, advancing as students progress. Building vocabulary sets, beginning with nouns, verbs and adjectives. Thereafter, moving to set phrases.						
到達目標 (150文字程度)	To increase student reading & listening ability, and language comprehension, to increase their ability to communicate in English. A variety of reading exercises, consisting of differing topics and situations, to strengthen and inspire student confidence. This class includes a Grammar component.						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート					
教員実務経験	Bryn: 日本での英語指導歴18年(対象は幼児から成人まで) John: 日本での英語指導歴6年、英語指導者資格(TEFL)レベル5保有						
学生へのメッセージ (150文字程度)	Developing reading & listening skills is a leap towards mastering English. Grammar is essential to language, and it is not as difficult as you think! English vocabulary is like Lego, once you understand the “blocks” you can make what you wish!						
教科書	書名	オリジナルプリント教材			書名		
	書名				書名		
参考書	書名				書名		
	書名				書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1-3		家と部屋
4-6		職業
7-9		交通機関
10-12		外見(人の形容)
13-15		場所
16-18		映画
19-21		音楽
22-24		カレンダー
25-27		天候
28-30	各テーマにつき	頻度(回数)
31-33	以下を実施	興味のあること
34-36	(30テーマ×3コマ)	道の聞き方
37-39		冬(季節)
40-42	1. 会話の実践と応用	外国人との会話の始め方
43-45	2. 文法解説	緊急事態対応
46-48	3. 語彙習得	天気の説明
49-51	進捗に応じて	楽しみ
52-54	・小テスト	週末の出来事
55-57	・英字新聞の読解練習	飛行機旅行
58-60		時間
61-63		電車・地下鉄
64-66		学校
67-69		街
70-72		注文
73-75		外食
76-78		事務所
79-81		お手伝い
82-84		買い物
85-87		近況
88-90		病気

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目

学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グランドスタッフコース□	開講時期	1年次	通年
授業科目名	中国語 I		担当教員名	担当教員	
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4
				選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	この授業では、中国語を初めて学ぶ受講生を対象に、発音の基礎からスタートし、基本的な語彙や文法事項を段階的に学んでいく。授業では様々なタスクを通じて、「読む・聞く・話す・書く」の4技能をバランスよく身につけると同時に、中国の文化や歴史、社会事情等についても学び、中国及び中国語に広く親しむ。				
到達目標 (150文字程度)	(1) 声調言語である中国語の学習において、音声習得はとりわけ重要なポイントである。ローマ字を用いた中国語の発音表記「ピンイン」の綴りを習得し、十分な時間をかけて反復練習を行うことで、正確で美しい発音の習得を目指す。 (2) 学んだ語彙や基本文型を用いることにより、身近な事柄について簡潔な文で表現し、他者と対話できる力を涵養する。				
評価方法	定期試験		その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	小テスト		
		60%	40%		
教員実務経験	—				
学生へのメッセージ (150文字程度)	初級中国語の最重要ポイントは発音です。自宅でもくり返し発音練習することを勧めます。				
教科書	書名	新基礎からの中国語	書名	朝日出版社	
	書名		書名		
参考書	書名		書名		
	書名		書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス、発音1	中国語概況、声調、単母音
2	発音2	子音
3	発音3	二重母音、三重母音、鼻母音
4	発音4	軽声、単母音erとr化、声調の変化
5	第1課	文法ポイント、本文
6	第1課	リスニング、文法ドリル
7	第2課	文法ポイント、本文、小テスト①
8	第2課	リスニング、文法ドリル
9	第3課	文法ポイント、本文
10	第3課	リスニング、文法ドリル
11	第4課	文法ポイント、本文
12	第4課	リスニング、文法ドリル
13	第5課	文法ポイント、本文
14	第5課	リスニング、文法ドリル
15	復習	第1～5課の復習、小テスト②
16	第6課	文法ポイント、本文
17	第6課	リスニング、文法ドリル
18	第7課	文法ポイント、本文
19	第7課	リスニング、文法ドリル
20	第8課	文法ポイント、本文
21	第8課	リスニング、文法ドリル
22	第9課	文法ポイント、本文、小テスト③
23	第9課	リスニング、文法ドリル
24	第10課	文法ポイント、本文
25	第10課	リスニング、文法ドリル
26	第11課	文法ポイント、本文
27	第11課	リスニング、文法ドリル
28	第12課	文法ポイント、本文
29	第12課	リスニング、文法ドリル
30	復習	第6～12課の復習、小テスト④

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 一般科目/専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科 キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			開講時期	1年時	集中
授業科目名	日本語(選択)		担当教員名	日本語教育有資格教員		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分 選択
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	日本語能力検定(N2)レベルの語彙・聴解・文法・長文読解の力を養い、各自の日本語基礎能力のボトムアップを図る。加えて、日本のビジネスシーンで必要となる敬語の基礎を学び、就職活動および卒業後の仕事の一助とする。					
到達目標 (150文字程度)	日本企業で働く際に求められる日本語能力検定2級(N2)合格、または同等レベル習得を目標とする					
評価方法	定期試験		その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢 20%			
80%						
教員実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)						
教科書	書名	パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N2		書名	外国人のための日本語敬語の使い方	
	書名			書名		
参考書	書名			書名		
	書名			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~2	文字・語彙	漢字の読み
3~4		表記
5		語形成
6~13		文脈規定
14~15		確認テスト・解説
16~18		言い換え類義
19~22		用法
23~24		確認テスト・解説
25~29	文法	文の文法1 文法形式の判断
30~32		文の文法2 文の組み立て
33~35		文章の文法
36~37		確認テスト・解説
38~39	読解	指示代名詞
40~41		理由
42~43		内容一致
44~45		筆者の考え
46~49		情報検索
50~51	聴解	課題理解
52~53		ポイント理解
54~55		概要理解
56~57		即時応答
58~59		統合理解
60~63	模擬テスト	「言語知識・読解・聴解」を2セット
64~65	検定直前対策	模擬テストの結果から弱点の補強
66~69	尊敬語	尊敬語1(特定のことば)
70~71		尊敬語2(一般的な形)
72		確認テスト
73~76	謙譲語	謙譲語1(特定のことば)
77~78		謙譲語2(一般的な形)

79		確認テスト
80～83	丁寧語・美化語	丁寧語・美化語
84		確認テスト
85～87	敬語実践編	機能別敬語の使い方
88～90		場面別敬語の使い方

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目				開講時期	1年次	集中
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース					
授業科目名	空港サービス入門		担当教員名	森 久見子 ・ エアポートサービス科全常勤教員				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修	
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアポートサービス科で受講する講義概要(スケジュール・内容)について各担当教員が説明を行う 2. エアポートサービス科で取得を目指す資格の概要と必要な知識について説明を行う 3. 航空業務の基礎知識(空港3レター・航空会社2レター・航空基礎用語)を習得する							
到達目標 (150文字程度)	2年課程であるエアポートサービス科の授業カリキュラム全体の構成と各科目の位置づけを理解し、就職先企業で必要となる航空専門知識・技量を身につけることの重要性を理解する							
評価方法	定期試験			その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	知識確認テスト	100%				
教員実務経験	エアライン実務業務							
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空専門の基礎知識を最初に確実に身につけ、その後の授業や就職の成果に直結させましょう。就職先企業での早期研修までに最短で1年半の短期間となる実情をふまえ、集中して取り組んでください。							
教科書	書名		書名					
	書名		書名					
参考書	書名		書名					
	書名		書名					

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ガイダンス・学科概要	A科全体概要説明・エアポートサービス科担当教員紹介	
2	各コース概要	CA・GSコース全体概要	
3		GHコース全体概要	
4	履修授業概要	各教員担当科目説明	
5		各教員担当科目説明	
6		各教員担当科目説明	
7		各教員担当科目説明	
8		各教員担当科目説明	
9	実習場紹介	モックアップ教室、グラウンドハンドリング実習場紹介	
10			
11	航空業務の基礎知識	空港コード(国内)	
12		空港コード(国際)	
13		航空会社コード	
14		航空基礎用語	
15	まとめ	知識確認テスト	

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース			開講時期	1年次	集中
授業科目名	インターンシップ教育(基礎)	担当教員名	田中 希代子・(委託先企業)				
授業形態	実習	授業時数	180	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 委託先企業の訓練カリキュラムに沿い、空港におけるグラウンドスタッフ(旅客)関連の業務知識を取得する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と関連するランプ・カーゴ・オペレーション業務との関わりと業務連携の重要性を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	実際に勤務する空港の現場に立ち、空港業務のインターンシップを通じて、航空会社のカウンター・ゲート等、旅客業務の最前線でお客様との接客経験を積むとともに、お客様の様々なご要望を適切に理解したうえで柔軟に対応する能力を高めるなど、コミュニケーション能力の向上を図る。						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験							
学生へのメッセージ (150文字程度)	企業でのインターンシップ経験は、来たるべき就職活動に向け、自らの就職先企業の選定への重要な基礎となることを認識し、しっかりとした目的意識を持ってインターンシップに取り組んで頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~90	基礎座学・OJT	航空会社実務業務の基礎知識の取得とランプ・カーゴ・オペレーション等空港関連部門の見学

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	1年次 通年		
授業科目名	エアラインビジネス-1	担当教員名	森 久見子 エアポートサービス科常勤講師/一部非常勤講師				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. エアラインの関連事業を知り、様々な企業の概要、業務を学ぶ 2. 激動する航空業界において、航空業界の最新動向やトレンドを学び、航空業界を取り巻く環境について理解を深める						
到達目標 (150文字程度)	航空業界が日本・世界の様々な政治・経済・社会的な動きに連動し、大きく変動する要素を抱える業界であることを正確に理解し、その最新動向について十分な知識と理解を得る						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	レポート		授業ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空系各企業への就職を希望し、今後航空業界に身を置く学生として、航空会社の関連事業や、時事的な話題にも関心を高め、理解を深めることに主眼を置いて受講してください						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	本講義概要説明、航空会社の事業領域
2	LCCのビジネスモデル	LCCの特徴、FSCとLCCの違い
3	エアラインの競合企業	エアラインの競合相手、様々な輸送機関
4	環境対策	エアラインの環境に関する取り組み
5	航空関連事業	航空関連事業 企業講話1
6		講話1 総括、レポート
7		航空関連事業 企業講話2
8		講話2 総括、レポート
9		航空関連事業 企業講話3
10		講話3 総括、レポート
11		航空関連事業 企業講話4
12		講話4 総括、レポート
13		航空関連事業 企業講話5
14		講話5 総括、レポート
15	まとめ	本講義の振り返り、総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グランドスタッフコース			開講時期	1年次 前期	
授業科目名	空港業務知識 I		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	航空会社の業務全体像を理解し、航空会社の各職種(主にキャビンアテンダント・グランドスタッフ・グランドハンドリング)に関する基礎的な業務知識や航空保安、航空機利用の流れ、国内各空港の特色や地域特性を学ぶ						
到達目標 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 航空機の運航に携わる様々な職種と業務内容を学び、職種間、部署間のチームワークの重要性を理解する 航空関連の基礎知識を身につける 						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	ワーク				
	50%		50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	航空業界は様々な職種のチームワークで安全第一のオペレーションを実現しています。各自が目指す職種のみにとどまらず幅広い職種に関心を持ち、またすべての職種のベースとなる航空保安の基礎を理解してください。						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門		書名			
	書名			書名			
参考書	書名			書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	航空機の利用	ガイドランス、飛行機利用の流れ、航空券の予約
2	職種別理解	グランドスタッフ業務概要
3		グランドハンドリング業務概要
4		キャビンアテンダント業務概要
5	空港施設	空港の様々な施設を知る、CIQとは
6	航空保安	不法妨害行為、航空機事故を起こさないために、保安検査、クリーンエリア、ダーティーエリア
7	国内エアライン	国内エアラインの拠点、ハブ空港
8	アライアンス	世界の三大アライアンス、FFPの理解
9	運航を支える業務	空港ハンドリング会社の業務(カーゴ、オペレーション)
10	校外研修準備	校外研修事前学習
11	校外研修振り返り	校外研修振り返り
12	国内空港の特色	国内各地域の空港、特色
13	GH業務理解	グランドハンドリング企業講話
14	航空貨物	航空貨物企業講話
15	まとめ	本講義振り返り、総括

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分	専門科目				開講時期	1年次	通年
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グランドスタッフコース				
授業科目名	エアポートサービス I		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	空港サービスにおける空港施設や航空従業員に必要な基本的知識を理解し、基本用語・略号を身につける						
到達目標 (150文字程度)	空港の基本構造・キャビンアテンダントやグランドスタッフに必要な基本的業務知識を理解し、空港サービスに大切な考え方を身につける						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
	60%		40%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	空港サービスに不可欠な基本知識はインターンシップまでに確実に身につけてください						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門			書名		
	書名				書名		
参考書	書名	ANAグランドスタッフ入門			書名		
	書名	JALグランドスタッフ入門			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	ガイダンス	ガイダンス、フォネティックコード コンピューター実習
2	運送約款	運送約款の理解、記載内容の確認
3	グランドスタッフの業務	予約(運賃、支払い手段)、チェックイン(座席特性)、空港使用料、マルチエアポート
4		チェックインシミュレーション①
5		ゲート業務、到着
6	航空券、eチケット	航空券、eチケット、搭乗券の違い
7	接続(乗り継ぎ)	最小接続時間、インバウンド、アウトバウンド
8	手荷物 危険物取扱い	機内持ち込み手荷物
9		預入手荷物
10		Dangerous Goodsの分類とグランドスタッフの役割
11	PC操作(初歩)	タッチタイピング
12		
13	カウンター対応	チェックインシミュレーション②
14	共同運航便、FFP	コードシェア、Frequent Flyer Programに関わる情報、上級会員へのサービス
15	1、2年生合同授業	航空業界について2年生によるプレゼンテーション
16		
17	配慮を要するお客様	配慮を要するお客様への手続き、ご案内
18	カウンター対応	チェックインシミュレーション③
19	ファーストエイド	空港で発生しやすい事故事例と対応
20		普通救命講習受講
21	イレギュラー対応	フライトイレギュラーの種類と発生原因、様々な対応
22		
23	インターンシップ	インターンシップ概要、企業概要説明
24	振り返り①	中間振り返り
25	Weight & Balance	航空機の安全にかかわる重さとバランス
26	カウンター対応	チェックインシミュレーション④
27	CIQ、渡航書類	CIQとの役割、パスポート、VISA
28	時差とサマータイム	世界標準時とは。時差計算、時刻表からフライトタイムを計算
29	航空会社のサービス	機内サービス、機内食、航空会社のサービス
30	振り返り②	最終振り返り

2025シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グランドスタッフコース		1年次	通年
授業科目名	接客・ホスピタリティ I -CA			担当教員名	田中 希代子	
授業形態	講義	授業時数	60	単位数	4	選択必修区分 必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> 客室乗務員の業務理解を深め、①保安要員②接客要員③マーケティング要員としての基礎力を身につける。 緊急事態への対応力を学ぶ 					
到達目標 (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> Safety Firstを理解し、いかなる時でも安全を最優先に考えた行動が出来る。 お客様の期待を超える接客が出来る。 					
評価方法	定期試験			その他の評価方法		
	筆記試験	レポート	課題レポート	取り組み姿勢		
			50%	50%		
教員実務経験	エアライン採用面接担当、国内線・国際線客室乗務員経験					
学生へのメッセージ (150文字程度)	エアラインの顔としてお客様により良い印象を提供できる接客力を身につけましょう。プロフェッショナルな接客力は客室乗務員職だけでなく、すべての接客業に役立ちます。					
教科書	書名	コミュニケーションマナー検定			書名	
	書名	エアラインオペレーション入門			書名	
参考書	書名	AIR STAGE			書名	
	書名				書名	

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	導入	客室乗務員の役割
2	第一印象	First Impressionの重要性・身だしなみスタンダード・ブランド力とは・立ち居振る舞い
3	保安要員としての役割	安全性チェック 搭乗中の手荷物の処置/離陸前/着陸前
4		
5	保安要員としての役割	安全情報 デモンストレーション
6		
7	プロフェッショナルスキル	接客者としての言葉遣い①
8		接客者としての言葉遣い②
9		クレーム対応①
10		クレーム対応②
11		スポットカンパセーション①
12		スポットカンパセーション②
13	サービス要員としての役割	ドリンクサービスの基本
14		ドリンクサービス
15	サービス要員としての役割	ミールサービスの基本
16		ミールサービス
17	マーケティング要員としての役割	機内販売・航空会社カードなど
18	機内アナウンス	機内アナウンスの基本
19		通常のアナウンス(搭乗歓迎など)/緊急時のアナウンス
20	機内アナウンス	PA (Passenger Address)を使用して実習
21		PAを使用して実習
22	総合演習	搭乗開始から降機まで ①
23		搭乗開始から降機まで ②
24	通常時のドア操作	ドアの構造を理解する
25		出発前、到着前のDoor操作
26	緊急時のドア操作	緊急時のドア操作を理解する
27		緊急着陸、着水時のDoor操作
28	緊急着水時	ライフベストの着用と説明が出来る
29	火災	①Galley②Lavatory③Cabin火災の初期対応、クルーコミュニケーション
30	急減圧	急減圧時の機内の状況を理解し、初期対応が出来る

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目			開講時期	1年次	後期
学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グランドスタッフコース				
授業科目名	接客・ホスピタリティ I -GS	担当教員名	森 久見子				
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	高品質な接客・接遇を体現するにあたり、身だしなみやコミュニケーション能力などエアラインの業務全般に求められる接客・接遇の基礎を学び、空港の様々なシーン(カウンター・ゲート・ロビー・機内)を想定し、学内モックアップで実践的な接客・接遇の基礎的技能を学ぶ						
到達目標 (150文字程度)	空港のフロントラインで発生しうる様々なシーンを想定し、見て感じよく、受けて気持ち良く、かつ機転、機敏、気配りのきいた対応が何かを理解し実践する						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
	筆記試験	レポート	取り組み姿勢				
		50%	50%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグランドスタッフ実務および業務管理						
学生へのメッセージ (150文字程度)	仲間と共に実習を行うことで接客者として、受けて心地よく見て感じ良い対応を体現してください						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名	ゼロから教えて接客・接遇	書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1	お客様心理	お客様心理と顧客満足度(CS)
2	基本対応	チェックイン基本対応シミュレーション
3		
4	様々な対応	易損品・破損手荷物の対応、プレミアムカスタマー対応
5		超過料金のご案内
6	お手伝いの必要なお客様対応	車椅子をご利用のお客様の対応
7		車椅子をご利用のお客様のご案内
8		
9	お手伝いの必要なお客様対応	視覚障がいのお客様の対応
10		聴覚障がいのお客様対応
11		お子様一人旅のお客様対応
12		妊娠中のお客様対応
13		
14	ロビーサービス	ロビーサービスの重要性
15		ロビーサービス実践

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分 専門科目

学科・コース名	エアポートサービス科		キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	1年次	前期
授業科目名	サービス介助		担当教員名	森 久見子			
授業形態	講義	授業時数	30	単位数	2	選択必修区分	必修
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	<ul style="list-style-type: none"> サービス介助士資格取得講座での資格取得に向けての事前学習として位置づけし、「おもてなしの心」と「安全な介助技術」基礎を学ぶ 空港や機内といった特殊な空間におけるおもてなしの心と介助技術を、実際に空港や機内の現場で使用している特殊な車いすを使い学ぶ 						
到達目標 (150文字程度)	サービス介助士の資格取得にむけて、高齢者が寝たきりにならず障がい者が引きこもることもなく、自由に街の中に出て地域活性化の力になっていただけるよう介助技術を身につけ、おもてなしの心と介助の心得、技術を習得する						
評価方法	定期試験			その他の評価方法			
	筆記試験	レポート	授業ワーク				
	70%		30%				
教員実務経験	エアライングループ会社でのグラウンドスタッフ実務および業務管理、サービス介助士						
学生へのメッセージ (150文字程度)	サービス介助士は現在サービス業を中心に多くの企業においてニーズの高い資格となっており、資格を持つことは就職活動においても強みとなります。「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を身につけてください						
教科書	書名	資格取得講座テキスト サービス介助士・準サービス介助士		書名			
	書名			書名			
参考書	書名	なし		書名			
	書名			書名			

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)

回=90分	項目	内容
1	1.共生社会へ向けて	ガイダンス、サービス介助士資格について 共生社会とは
2	2.サービス介助士の接遇	サービス介助士の接遇
3	3.障害のとらえ方	障害のとらえ方
4	4.高齢社会の理解	日本社会における高齢化
5	5.高齢者への接遇	高齢者の理解
6		高齢者の介助
7	6.障害者への理解と支援	歩行障害者への理解と介助
8		車椅子への移乗、車椅子操作演習
9		視覚障害者のへの理解
10		視覚障害者のへの介助、クロックポジション、点字
11		聴覚障害者への理解と介助、手話、指文字
12		知的・精神障害者への理解と介助
13	7.障害者の自立支援	
14	8.円滑なコミュニケーション	
15	9.関連法規	

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グラウンドスタッフコース		開講時期	1年次	集中	
授業科目名	インターンシップ教育 (応用)		担当教員名	田中 希代子・(委託先企業)			
授業形態	実習	授業時数	180	単位数	4	選択必修区分	選択
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	1. 委託先企業の訓練カリキュラムに沿い、空港におけるグラウンドスタッフ(旅客)関連の業務知識を取得する。 2. 空港スタッフとして求められる航空専門知識の取得と関連するランプ・カーゴ・オペレーション業務との関わりと業務連携の重要性を理解する。						
到達目標 (150文字程度)	実際に勤務する空港の現場に立ち、空港業務のインターンシップを通じて、航空会社のカウンター・ゲート等、旅客業務の最前線でお客様との接客経験を積むとともに、お客様の様々なご要望を適切に理解したうえで柔軟に対応する能力を高めるなど、コミュニケーション能力の向上を図る。						
評価方法	定期試験		その他の評価方法				
			企業実習評価	勤務状況			
			80%	20%			
教員実務経験	---						
学生へのメッセージ (150文字程度)	企業でのインターンシップ経験は、来たるべき就職活動に向け、自らの就職先企業の選定への重要な基礎となることを認識し、しっかりとした目的意識を持ってインターンシップに取り組んで頂きたい。						
教科書	書名		書名				
	書名		書名				
参考書	書名		書名				
	書名		書名				

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)		
回=90分	項目	内容
1~90	ライン業務経験・実習	委託先企業(空港)におけるライン業務経験と実務実習

2025 シラバス(科目概要・授業計画)

科目区分		専門科目					
学科・コース名	エアポートサービス科	キャビンアテンダント・グランドスタッフコース				開講時期	1年次 集中
授業科目名	キャビンアテンダント・グランドスタッフ接遇力(応用)			担当教員名	田中希代子・森 久見子・岡本順子・グランドハンドリングコース教員(一部外部講師)		
授業形態	講義	授業時数	180	単位数	12	選択必修区分	選択
授業概要 (目的・テーマ等) (150文字程度)	就職活動を進めるにあたり、幅広い業界と職種において活躍できる人財育成を目指すプログラムです。就職に優れた各種資格の取得対策およびより深い表現力・接遇力・専門知識を習得します。						
到達目標 (150文字程度)	キャビンアテンダント・グランドスタッフをはじめとする接遇力を活かした就業に向け、職種理解と専門知識を深め、幅広い領域で活躍できる力を身につけ、志望職種への内定に繋がります。						
評価方法	定期試験	その他の評価方法					
		レポートまたは小テスト	取り組み姿勢				
		30%	70%				
教員実務経験	国際線・国内線客室乗務員および航空会社での安全品質管理部署経験 空港旅客業務経験 外資系ホテル及び法人研修コンサルティング会社における実務経験						
学生へのメッセージ (150文字程度)	接遇に関わる職種理解を深め、自分の適性を伸ばし、夢を実現しましょう。						
教科書	書名	エアラインオペレーション入門			書名	コミュニケーションマナー検定	
	書名	ゼロから教えて 接客・接遇			書名	Hospitality English	
参考書	書名	AIR STAGE			書名	ANAグランドスタッフ入門	
	書名	JALグランドスタッフ入門			書名		

授業計画 (各回ごとの項目と内容について)			
回=90分	項目	内容	
1	ホスピタリティセオリー	講義概要、就学目的説明、ホスピタリティとは・自身の社会的スキル尺度を知る	
2		マーケティング(サービスとリレーションシップ)・サービスリカバリー	
3		顧客満足①	
4		顧客満足②	
5	セルフプロデュース	自己のパーソナリティを知る	
6		自己分析①(強みの発見・強化に向けて)	
7		自己分析②(弱みの発見・強化に向けて)	
8		自己表現①	
9		自己表現②	
10		自己表現③	
11		自己表現④	
12		自己表現⑤	
13		自己表現⑥	
14		自己表現⑦	
15	自己表現⑧		
16	自己表現⑨		
17	ユニバーサルサービス	ユニバーサルサービス	
18		アンコンシャス・バイアス	
19		ジェンダーの多様性	
20		LGBTQ	
21		ダイバーシティ&インクルージョン	
22		高齢者、障がい者の理解	
23		障がいの社会モデル、障がい者雇用	
24		グローバルカスタマー	
25		ユニバーサルサービスの実現	
26	接遇力が活かされる職種	接遇力を求められる様々な職業	
27		ホテルでの接遇①(座学)	
28		ホテルでの接遇②(座学)	
29		ホテルでの接遇③(座学)	
30		ホテルでの接遇④(座学)	
31		ホテルでの接遇①(実習)	
32		ホテルでの接遇②(実習)	
33		ホテルでの接遇③(実習)	
34	ホテルでの接遇④(実習)		

回=90分	項目	内容	
35	空港地上業務	グランドハンドリング講話	グランドハンドリング教員
36		グランドハンドリング体験	
37		貨物ハンドリング・貨物事務業務①	
38		貨物ハンドリング・貨物事務業務②	
39		空港地上支援業務①	
40		空港地上支援業務②	
41	コンピューター入門	ブラインドタッチ①	森
42		ブラインドタッチ②	
43	救急看護	基礎知識	田中(希)
44		初期対応	岐阜医療大学
45		疾病について	
46	防災・消火活動	消火実習	田中(希)
47		防災知識	
48	気象	気象について①	小川
49		気象について②	
50	航空安全	航空機の安全について①	村山
51		航空機の安全について②	
52		航空機の安全について③	
53		航空機の安全について④	
54		安全推進活動①	
55		安全推進活動②	
56	接遇英語入門	Hospitality English①	田中(希)
57		Hospitality English②	
58		Hospitality English③	
59		Hospitality English④	
60		Hospitality English⑤	
61		Hospitality English⑥	
62		Hospitality English⑦	
63		Hospitality English⑧	
64		Hospitality English⑨	
65		Hospitality English⑩	
66	コミュニケーションマナー検定対策	1.コミュニケーション上手になるために	森
67			
68		2.生活の中のコミュニケーション&マナー	
69			
70		3.社会人として知っておくべきこと	
71			
72		4.人生や季節、折々のイベント	
73			
74		検定対策①	
75		検定対策②	
76	観光英検3級	観光英検対策①	田中(希)
77		観光英検対策②	
78		観光英検対策③	
79		観光英検対策④	
80		観光英検対策⑤	
81		観光英検対策⑥	
82		観光英検対策⑦	
83		観光英検対策⑧	
84		観光英検対策⑨	
85		観光英検対策⑩	
86		観光英検対策⑪	
87		観光英検対策⑫	
88	SDG's	SDG's(持続可能な開発目標とは)	田中(希)
89		SDG's(推進企業研究)	
90		レポート作成	